

事業番号	04 04 06	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医師研究資金貸与事業				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト	4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト			課・室	医療推進課医師確保対策室		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり			E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp		
		3 医療従事者の養成・確保			実施期間	H19 ~		

1 事業の概要

目指す姿	医師不足が特に深刻な診療科の医師を確保するため、県外から即戦力となる医師に医師研究環境整備資金を貸与する。また、全国的に数が少ないがん治療に従事する専門医については、県内の医師にがん診療専門医確保資金を貸与し、養成・確保を図る。 成果目標：人口10万人当たり医療従事医師数 205人(H22) ⇒ 230人(H29)
------	---

現状(予算編成時)	○産科をはじめとした特定の診療科の医師不足は、依然として深刻な状況であり、即戦力の医師を確保する必要がある。 ○がん治療に従事する専門医は、全国的に少ない状況であり、育成していく必要がある。
-----------	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：実施は困難	医師不足が著しい診療科の医師を確保するため、地域医療再生基金を有効活用しながら実施することが効果的である。 長野県医師研究資金貸与規程、地域医療再生計画

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)				
	県外から転任する分娩を取り扱う産科医等へ研究資金を貸与することにより、医師不足が著しい診療科の即戦力の医師の確保に努める。また、がん治療に従事する専門医を育成していく。				
	② 事業内容 (単位：千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績	H26(当初)	H26(決算)
1. 医師研究環境整備資金貸与事業	直接	<医師研究環境整備資金> ・対象診療科：分娩を扱う産科、外科、麻酔科等 ・貸与額：3年以上勤務しようとする医師に300万円 2年以上勤務しようとする医師に200万円 ・返還免除：300万円貸与者は3年、200万円貸与者は2年以上県内医療機関に勤務した場合は2年以上県内医療機関に勤務した場合 ・その他：医療従事医師数が著しく少ない木曽・上伊那・北信・上小医療圏の医療機関へ勤務しようとする医師について優先的に貸与	12,000	6,000	24,000
2. がん診療専門医確保事業	直接	<医師研究環境整備資金> ・対象診療科：放射線科 ・貸与額、返還免除については、1と同様 <がん診療専門医確保資金> ・対象専門医：がん薬物療法専門医、放射線治療専門医 ・貸与額：2年間の研修期間に対し150万円 ・返還免除：専門医取得後、3年以上県内病院で業務に従事した場合	6,000	1,500	6,000
合計			18,000	7,500	30,000

事業コスト	区分(単位：千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	18,000	18,000	18,000	30,000
	補正予算				
	合計(A)	18,000	18,000	18,000	30,000
	一般財源	9,000	9,000	6,000	6,000
	県債				
	国庫支出金				
	その他	9,000	9,000	12,000	24,000
	決算額(B)	8,000	17,000	7,500	
概算人員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
概算人員費(C)	826	826	826	826	
概算事業費(B(A)+C)	8,826	17,826	8,326	30,826	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
医師研究資金貸与者	3	3	3	達成	3
貸与を受け県内に定着した医師数	3	3	3	達成	-

目標に対する成果の状況	県外から転任する医師へ研究資金を貸与することにより、即戦力となる医師を確保し、目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成27年度から医師研究環境整備資金の対象診療科に、循環器内科及び脳神経外科を加えたところであり、引き続き医師不足が著しい診療科の即戦力の医師の確保に努めていく。